SOS-KANTO 2012 Study （解析テーマ　一覧）

解析班No.	GROUPおよび内容	テーマ	施設	施設担当者
1	Assessment Guidelines (G 2000 versus G2010) Group （SOS-KANTO Study 10年間の比較）	関東地域における10年間の院外心停止に対する心肺蘇生に関する変化（全体像）＜総括＞	担当者未定	担当者未定
		ガイドライン2000（SOS-KANTO 2002）とガイドライン2010（SOS-KANTO 2012）の比較	国立病院機構水戸医療センター	土谷　飛鳥
		ガイドライン2000（SOS-KANTO 2002）とガイドライン2010（SOS-KANTO 2012）の比較	日本医科大学付属病院	○田上 隆
		ガイドライン2000（SOS-KANTO 2002）とガイドライン2010（SOS-KANTO 2012）の比較	千葉大学附属病院	中田　孝明
		SOS-KANTO 2002と2012から見る、関東地方のCPA疫学調査	水戸医療センター	土谷　飛鳥
		関東地区における国際標準的な診療の実施状況	獨協医科大学	菊地　研
		関東地域における10年間の院外心停止（OHCPA）に対する心肺蘇生に関する変化・総論	順天堂大学医学部附属浦安病院救急診療科	井上　貴昭
2	Pre-hospital Care Group （市民応急手当、口頭指導、消防機関救命処置、院外救急医療活動）	口頭指示	駿河台日本大学病院	西川　慶
		Chest compression only CPR	駿河台日本大学病院	西川　慶
		声門上気道デバイスとバックバルブマスク	国立病院機構　横浜医療センター	古谷　良輔
		声門上気道デバイスとバックバルブマスク	前橋赤十字病院	○宮崎　大・中野　実
		声門上気道デバイスとバックバルブマスク	横浜市立市民病院	谷口　隼人
		救急隊現場滞在時間	君津中央病院	北村　伸哉
		救急隊現場滞在時間	東京労災病院	山本　武史
		救急救命士の特定行為	東京女子医科大学	諸井　隆一
		救急救命士の特定行為	日本医科大学多摩永山病院	久野　将宗/鈴木　健介
		現場活動救急隊の連携の有無	前橋赤十字病院	宮崎　大・中野　実
		ドクターカー	災害医療センター	小笠原　智子
		ドクターカー	平塚市民病院	葉　季久雄
		ドクターカー	松戸市立病院	庄古　知久
		ドクターカー	日本医科大学付属病院	田上　隆
		ドクターヘリ	東海大学医学部附属病院	中川　儀英
		現場滞在時間についての地域間格差	昭和大学藤が丘病院救急医学科	林　宗貴
		病院前気道確保デバイスの検討	東京ベイ・浦安市川医療センター	志賀　隆・本間　洋輔
		救急隊の気管挿管およびエピネフリン投与による蘇生への影響	東京ベイ・浦安市川医療センター	志賀　隆・本間　洋輔
		病院前救護における心肺停止例に対する特定行為施行後の現状と問題点	足利赤十字病院	小川　理郎
		初回心電図波形別にみたbystander CPRの効果に関する検討	千葉大学医学部附属病院	篠崎　広一郎
		圧迫デバイス	昭和大学病院	神田　潤
		AED使用率の変化	東京ベイ・浦安市川医療センター	志賀　隆・本間　洋輔
		救命救急士へ気管挿管の教育効果	東京ベイ・浦安市川医療センター	志賀　隆・本間　洋輔
		CPA発症からアドレナリン投与までの時間と予後の関連について	川崎市立川崎病院	權守　智
		現場滞在時間別にみた院外心停止例の予後比較	順天堂大学医学部附属浦安病院救急診療科	井上　貴昭
		院外心停止患者の搬送に要する時間の検討	慶應義塾大学医学部救急医学	鈴木　昌
3	In-hospital Care Group （病院収容後救命処置）	PCPS（E-CPR）	駿河台日本大学病院	渡邉　和宏
		PCPS（E-CPR）	災害医療センター	○小笠原　智子
		PCPS（E-CPR）	さいたま赤十字病院	矢野　博子
		PCPS（E-CPR）	済生会横浜市東部病院	豊田　幸樹年
		E-CPR	千葉大学医学部附属病院	中田　孝明
		PCPS，IABP	埼玉医科大学総合医療センター	中田　一之
		Onset-to-PCPS start time (initial rhythmによる違い等)	群馬大学臓器病態救急学	萩原　周一・金子　稔
		PCPSとIABPの併用効果	群馬大学臓器病態救急学	萩原　周一・神戸　将彦
		新しい補助循環装置Impella® など	駿河台日本大学病院	渡邉　和宏
		病院収容後胸骨圧迫デバイス（LUCAS®, AutoPulse® など）	慶應義塾大学病院	鈴木　昌
		Atropine	駿河台日本大学病院	渡邉　和宏
		Atropine	君津中央病院	北村　伸哉
		アドレナリン	東京女子医科大学	久保田 英
		アドレナリン初回投与時間と蘇生及び長期神経予後の関連について	東京ベイ・浦安市川医療センター	本間　洋輔
		マグネシウム	日本医科大学付属病院	田上 隆
		炭酸水素ナトリウム	戸塚共立第1病院	初雁　育介
		エコー	東京都立墨東病院	杉山　和宏
		SpO2モニター	東京都立墨東病院	柏浦　正広
		炭酸水素ナトリウム使用例の転帰	成田赤十字病院	奥　怜子
		蘇生中に投与する炭酸水素ナトリウムの投与効果に関する検討	千葉大学医学部附属病院	篠崎　広一郎
		開胸心マッサージの実施率と有効性の検討	順天堂大学医学部附属浦安病院救急診療科	井上　貴昭
4	Post Cardiac Arrest Care Group （心停止後症候群、蘇生後集中治療）	Lactate クリアランス	慶應義塾大学病院	○林田　敬
		Lactate クリアランス	国立病院機構　横浜医療センター	古谷　良輔
		蘇生後集中治療（心停止後症候群）	日本大学医学部附属板橋病院	櫻井 淳、野田　彰浩
		蘇生後集中治療（心停止後症候群）	災害医療センター	小笠原　智子
		蘇生後集中治療（心停止後症候群）	千葉大学附属病院	安部　隆三
		蘇生後集中治療（心停止後症候群）	日本医科大学付属病院	田上 隆
		血液浄化法	千葉大学附属病院	安部　隆三
		蘇生後心機能良好群（LVEF≧40%）と心機能低下群の治療戦略	獨協医科大学	菊地 研
		蘇生後早期にFiO2≦60%達成できると転帰が改善するか？	獨協医科大学	神津　成紀/菊地　研
		来院時血糖値、HbA1c、血糖管理	獨協医科大学	西野　節/菊地　研
		蘇生後経腸栄養開始時期（症例記録用紙にはないチェック項目なし）	担当者未定	担当者未定
		低体温療法	日本大学医学部附属板橋病院	櫻井 淳、野田　彰浩
		低体温療法	駿河台日本大学病院	蘇我　孟群
		低体温療法	災害医療センター	小笠原　智子
		低体温療法	聖マリアンナ医科大学救急医学	小山　泰明
		低体温療法	日本医科大学付属病院	田上 隆
		冷却方法と予後の関連	済生会宇都宮病院	藤井　公一
		目標体温34℃ vs. 35℃	東京女子医科大学附属八千代医療センター	貞広　智仁
		目標体温34℃ vs. 35℃	東京医科歯科大学医学部附属病院	吉川　和秀
		目標体温34℃ vs. 35℃	済生会横浜市東部病院	折田　智彦
		目標体温34℃ vs. 34℃以外	千葉県救急医療センター	稲葉　晋
		34℃ vs. 35℃に限らず、32℃ vs. 34℃、33℃ vs. 35℃なども含めた目標体温別効果の検討	千葉大学附属病院	安部　隆三
		34℃ vs. 35℃に限らず、32℃ vs. 34℃、33℃ vs. 35℃なども含めた目標体温別効果の検討	千葉市立青葉病院	島田　忠長
		低体温療法に伴う合併症の頻度と転帰	東京労災病院	山本　武史
		低体温療法に伴う合併症の頻度と転帰	千葉大学附属病院	安部　隆三
		低体温療法に伴う合併症の頻度と転帰	千葉市立青葉病院	島田　忠長
		低体温療法に伴う合併症の頻度と転帰	東京医科歯科大学医学部附属病院	吉川　和秀
		心停止時間が短時間ならば低体温療法は必要か？	千葉県救急医療センター	稲葉　晋
		低体温療法の管理（何かを指標に管理を変えるべきか？） （初期調律、心原性or非心原性、基礎疾患、年齢、心停止から自己心拍再開までの時間）	獨協医科大学	菊地　研
		蘇生後高体温に対する解熱薬の使用と転帰	国立病院機構　横浜医療センター	古谷　良輔
		蘇生後高体温に対する解熱薬の使用と転帰	千葉大学附属病院	安部　隆三
		蘇生後抗痙攣薬の使用と転帰	帝京大学医学部附属病院	佐々木　勝教・坂本　哲也
		蘇生後抗痙攣薬の使用と転帰	日本医科大学付属病院	田上　隆
		冠動脈所見と再灌流療法	駿河台日本大学病院	蘇我　孟群
		冠動脈所見と再灌流療法	国立病院機構水戸医療センター	山田　理仁
		院外心停止患者におけるDoor-to-balloon timeの目標は90分か？	獨協医科大学	菊地　研
		冠動脈病変の重症度と転帰	獨協医科大学	西山　佳孝/菊地　研
		再灌流療法成功の有無と転帰	獨協医科大学	西山　佳孝/菊地　研
		Hypothermia first vs. PCI first	群馬大学臓器病態救急学	萩原　周一
		NSTEMI/UAPに緊急CAGが必要か？	群馬大学臓器病態救急学	萩原　周一
		冠動脈所見と再灌流療法（冠動脈多枝病変患者と再灌流療法）	昭和大学藤が丘病院循環器内科	林　宗貴・鈴木　洋
		冠動脈所見と再灌流療法（院外心停止と冠攣縮）	昭和大学藤が丘病院循環器内科	佐藤　督忠
		蘇生後24時間以内における低体温療法の至適冷却温度と冷却時間の検討	千葉大学医学部附属病院	篠崎　広一郎
5	VF Group （VF症例全般：背景因子から治療戦略）	Incidence of VF	駿河台日本大学病院	松崎 真和
		ニフェカラント	駿河台日本大学病院	松崎 真和
		アミオダロン vs. ニフェカラント	東海大学循環器内科	網野真理
		アミオダロン投与量による効果の違いの検討	東海大学循環器内科	網野真理
		VFに対するエピネフリンの影響	東海大学循環器内科	網野真理
		リドカイン使用例の現状と有効例の特徴	東海大学循環器内科	網野真理
		アミオダロン vs. ニフェカラント	さいたま赤十字病院	早川　桂・清水敬樹
		アミオダロン投与量による効果の違いの検討	東京ベイ・浦安市川医療センター	本間　洋輔・志賀　隆・

2013年8月30日　現在

SOS-KANTO 2012 Study （解析テーマ　一覧）

6	Non-Shockable and/or Non-Cardiac Group （VF以外の症例、非心原性疾患、心原性と非心原性）		「推定」心原性と「確定」心原性の比較	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	吉田　徹
			気管支喘息	横須賀共済病院	鈴木　淳一
			外傷	平塚市民病院	葉　季久雄
			病院外心停止をきたす急性肺塞栓症	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	吉田　徹
			画像診断(Ai)による大動脈瘤・くも膜下出	横浜労災病院	兼坂　茂
			心原性と非心原性の違い（発生時間・場所・転帰）	横浜市立大学附属市民総合医療センター	松本　順・森村　尚登
			病院外心停止をきたす大動脈疾患	横浜市立大学附属市民総合医療センター	松本　順・森村　尚登
			病院外心停止をきたすクモ膜下出血	横浜市立大学附属市民総合医療センター	松本　順・森村　尚登
			Non-shockable Rhythmを呈した院外心肺停止症例の予後	君津中央病院	○北村　伸哉
			PEAにおけるSpO2波形検出の有無と診断の関係	久喜総合病院	大網　毅彦
			外傷心肺停止患者の生存率とその特徴	慶應義塾大学医学部救急医学	小林　陽介・林田　敬
7	Regional System Group （救急システム：発生場所、地域差、施設、勤務時間帯）		関東地方におけるBystander CPRの現状と救命効果	駿河台日本大学病院	渡邉　和宏
			関東地方におけるBystander CPRの現状と救命効果	日本医科大学付属病院	田上　隆
			心肺停止の場所と予後の関連	順天堂大学医学部附属練馬病院	○野村　智久
			心肺停止の場所と予後の関連	江東病院	三浦　邦久
			心肺停止の場所と予後の関連	国立病院機構　横浜医療センター	古谷　良輔
			心肺停止の場所と予後の関連	千葉大学附属病院	中田　孝明
			浴室・浴場における心停止の検討（疫学，診断について）	久喜総合病院	大網　毅彦
			地域間比較	災害医療センター	小笠原　智子
			地域間比較	さいたま赤十字病院	清田　和也
			地域間比較	国立病院機構水戸医療センター	石上　耕司
			地域間比較	平塚市民病院	葉　季久雄
			Large Center vs. Small Center	安房地域医療センター	不動寺　純明
			Large Center vs. Small Center	日本医科大学付属病院	田上　隆
			平日の日勤帯とそれ以外の時間帯の差	千葉大学附属病院	中田　孝明
			バイスタンダーCPRに関してBLS普及活動の有効性の検討	昭和大学病院	神田　潤
			症例数・スタッフ数と転帰	千葉大学医学部附属病院	中田　孝明
			季節・気温	千葉大学医学部附属病院	中田　孝明
			施設間のCPR成績の差異	東海大学救命救急医学	若井　慎二郎
			救急従事医師数と蘇生率の関連について	東京ベイ・浦安市川医療センター	本間　洋輔
			SOS-KANTO　2012と全国ウツタイン統計の比較	東京ベイ・浦安市川医療センター	本間　洋輔
8	Outcome Prediction Group （予後予測、蘇生中止基準、採血データ、背景因子）		Predictors for good cerebral performance	駿河台日本大学病院	廣瀬　晴美
			Predictors for good cerebral performance	日本医科大学付属病院	田上　隆
			SEP（体性感覚電位）	前橋赤十字病院	宮崎　大・中村　光伸
			FOUR score	帝京大学医学部附属病院	佐々木　勝教・坂本　哲也
			常用薬（アスピリン、スタチン、β遮断薬）と転帰	獨協医科大学	菊地 研
			既往歴と転帰	千葉大学附属病院	渡邉　栄三
			体格（肥満体型）と転帰	獨協医科大学	菊地　研・鍛　良之
			普段生活と予後	東京女子医科大学	島本　周治
			瞳孔所見と予後	東京女子医科大学	武田　宗和
			転院症例の転帰	さいたま赤十字病院	清田　和也
			季節と来院時体温と転帰の関連	久喜総合病院	大網　毅彦
			Hemoglobin	慶應義塾大学病院	○鈴木 昌
			eGFR	慶應義塾大学病院	鈴木 昌
			初回血液ガス分析	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	桝井　良裕
			アンモニア	駿河台日本大学病院	廣瀬　晴美
			アンモニアと乳酸値	横浜労災病院	兼坂 茂
			高酸素血症の蘇生に与える影響について	国立病院機構水戸医療センター	堤　悠介
			外来採取検体の血液ガス分析結果による院外心肺停止患者の予後判定	千葉大学医学部附属病院	篠崎　広一郎
			外来採取検体のアンモニアと乳酸血中濃度により院外心停止蘇生後患者の予後判定	千葉大学医学部附属病院	篠崎　広一郎
			肥満、年齢と予後	獨協医大越谷病院	杉木　大輔
			医療機関内でのCPAと基幹病院への転送について	昭和大学病院	神田　潤
			来院時検査結果から心肺停止時間の予測	群馬大学臓器病態救急学	青木　誠・萩原　周一
			来院時心拍再開患者の予後に関する因子の検討	昭和大学病院	神田　潤
			院外心停止患者に対するアドレナリン累積投与量による予後の比較	国立国際医療研究センター	重田　健太
			院外心停止患者の臨床転帰に関する性差の検討	慶應義塾大学医学部救急医学	鈴木　昌
9	Paediatric Resuscitation Study group; PResS （小児解析全般）	Assessment Group（9-1）	G2000 vs G2010	東京都立小児総合医療センター	○清水　直樹
				国立成育医療研究センター	六車　崇
		Pre-hospital Care Group（9-2）	口答指示（byCPR含む9-7）	東京都立小児総合医療センター	光銭　大裕
			Chest compression only	東京都立小児総合医療センター	清水　直樹
			声門上気道デバイス	国立成育医療研究センター	青木　一憲
			特定行為（薬剤・投与経路）	東京都立小児総合医療センター	井上　信明
			現場医師派遣（DrC・DH）	東京都立小児総合医療センター	井上　信明
		In-hospital Care Group（9-3）	（9-5へ包括）		–
		Post Cardiac Arrest Care Group（9-4）	低体温療法（高体温回避）	東京都立小児総合医療センター	齋藤　修
		VF Group（9-5）	VF/心原性：病院前DCから病院内薬剤・PCPS（9-3）	国立成育医療研究センター	山﨑　治幸
		Non-VF Group（9-6）	成人と連携	東京都立小児総合医療センター	萩原　佑亮
		Regional System Group（9-7）	場所と転帰の関係・地域差	国立成育医療研究センター	植松　悟子
		Outcome Prediction Group（9-8）	予後予測因子（理学・検査）	国立成育医療研究センター	問田　千晶
			死因究明体制	東京都立小児総合医療センター	清水　直樹
			TOR	東京都立小児総合医療センター	清水　直樹
				国立成育医療研究センター	六車　崇
10	Termination of Resuscitation (TOR) Group （蘇生中止基準）		院外心肺停止患者の蘇生中止基準	順天堂大学医学部附属練馬病院	野村　智久
			院外心肺停止患者の蘇生中止基準	江東病院	三浦　邦久
			院外心肺停止患者の蘇生中止基準	東京都立墨東病院	明石　暁子
			院外心肺停止患者の蘇生中止基準	災害医療センター	小笠原　智子
			院外心肺停止患者の蘇生中止基準	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	吉田　徹
			院外心肺停止患者の蘇生中止基準	国立病院機構水戸医療センター	堤　悠介
			院外心肺停止患者の蘇生中止基準	済生会宇都宮病院	宮武　諭
			院外心肺停止患者の蘇生中止基準	日本医科大学武蔵小杉病院	遠藤　広史
			院外心肺停止患者の蘇生中止基準	昭和大学藤が丘病院救急医学科	林　宗貴
			SOS-KANTO　2012　studyにおけるBLS　TORルール、ALS TORルールの妥当性の評価	東京都立墨東病院	柏浦　正広
			院外心肺停止における蘇生中止基準の検討	東京都立墨東病院	杉山　和宏
			来院時心肺停止患者における院内ALZの終了基準の検討	東京都立墨東病院	柏浦　正広

2013年8月30日　現在